

しろね図書館だより

No.102

発行 新潟市立白根図書館
平成20年11月発行
(毎月第1木曜日発行)

第三回安吾賞受賞

瀬戸内寂聴

11月の展示架は、このたび
新潟市が主催する第3回
安吾賞を受賞された、
瀬戸内寂聴さんの特集です。

瀬戸内寂聴さんは、作家としては
もちろんのこと、お坊さんとして
も知られている方です。
『現代語訳 源氏物語』をはじめ、
『夏の終り』や『場所』など
多数の著作があり、たくさんの
文学賞を受賞しています。
最近では86歳にしてケータイ
小説の執筆にも挑戦するなど、
チャレンジ精神と遊び心
あふれるおばあさんです。

おしらせ

AV資料(ビデオやCDなど)も
本と同じように、
「2週間」かりることが
できるようにになりました。

10月の

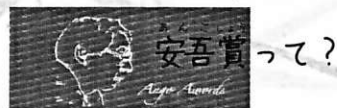
来館者…… 15,322人
貸出冊数…… 14,874冊
予約件数…… 340件
ブックバス利用者…… 422人
ブックバス貸出冊数…… 1,246冊

11月の展示架

予約ランキング

ただいま人気の本です。
しばらくお待ちください。

- 1位 ハリー・ポッターと死の秘宝(18名)
- 2位 流星の絆(10名)
- 3位 夢をかなえるゾウ(7名)
- 3位 告白(7名)



新潟市ゆかりの作家である
坂口安吾は、文学だけでなく
何事においても一生懸命に
チャレンジし続ける人であった
といわれています。
あくなき挑戦を続ける、
現代の安吾たちを応援する。
それが「安吾賞」の精神です。

ここではあえて、瀬戸内寂聴さんの
ケータイ小説向けの筆名である
「ばーぶる」のプロフィールを
紹介してみます。
気分は女子高生……?
なかなかお茶目さんのようですね。

【身長・体重】

ヒミツ

【自分が一番輝く瞬間】

好きな食べ物

【好きな食べ物】

お肉(特にウシ)

【今一番欲しいもの】

トキドキ

【最近頭にきていること】

世の中のあんな達

【最近凹んだこと】

凹むを「クボム」って読んだら

笑ったこと…

【地球があと24時間しかなかったら?】

あの人に告白したい♡

【使っている携帯電話】

ピンクのドコモ

木の実とともだち

—みつける・たべる・つくる—

松岡達英/構成 下田智美/絵と文 (偕成社)

私たちの身の回りにもあつというまに
秋色になってきました。色々な木の実を探
しに行く前に、行った後に、こんな本を開
いてみてはいかがでしょうか。その色鮮や
かな木の実の名前から注意点、食べ方のほ
かに遊び方までおもしろい楽しみます。
構成の松岡達英さんは新潟県生まれの方
です。自然や生きものについてたくさん
の絵本を描いています。新作の「里山百年図
鑑」(小学館)もお勧めです。こちら
もあわせて読んでみてください。



秋の恵みをたっぷり味わえる
おすすめ絵本2冊です。
どうぞ、ゆっくりとお子さんと一緒に
“秋”を絵本で楽しみください。

山のごちそう どんぐりの木

ゆのきょうこ/文 川上和生/絵 (双葉社)

どんぐりの木の1年をゆくりと
描いています。どんぐりだけでなく、その
木もさまざまな動物、昆虫にとっても大切
なごちそうであることを語っています。
ごちそうのどんぐりをどんな動物がどんな
風に食べているのか、少し森のくらしの覗
いたような気分です。
私たちもどんぐりを食べるだけでなく色々
な方法で使っています。

11月の読書会

11月30日(日) 14:00~



ルーム 2



走り続けて、
気張り続けた漢がひとり。

気張る男

城山三郎著(文藝春秋)

10歳で故郷の寒村から裸一貫で飛び出して以来
鉄道銀行紡績ビールと次々と事業を起し、
明治時代の名実業家として
後世に名を残した松本重太郎の物語。
信頼され応援されひたすら走り続けた重太郎。
東に渋沢栄一、西に松本重太郎ありと称えられ
関西実業界の帝王として名をはせた彼だったが、
やがて、すべての私財を投じて打つ時がやってくる――。

11月の行事

11月1日(土)

絵本のじかん 14:10~
おはなし会 14:30~

11月15日(土)

絵本のじかん 14:10~
おはなし会 14:30~

11月8日(土)

おはなし会 10:00~
絵本のじかん 14:10~
おはなし会 14:30~

11月22日(土)

おはなし会 10:00~
絵本のじかん 14:10~
おはなし会 14:30~

11月12日(水)

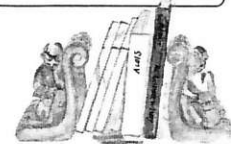
あかちゃんのはじめてであうほん

11月25日(火)

雑誌リサイクル

11月30日(日)

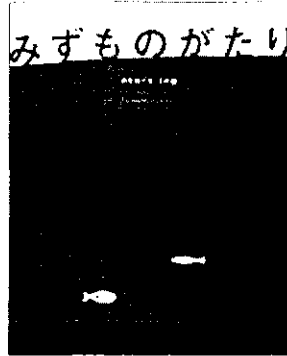
読書会(ル-42) 14:00~



11月のブックバス

コース	学校	停車時間	巡回日
月A	白根北中学校	13:10~13:40	-/ 11/7
	大通小学校	14:00~15:15	-/ 11/7
火A	大鷲小学校	児童限定	11/4 11/18
	根岸小学校	児童限定	11/4 11/18
水A	茨曾根小学校	10:10~10:35	-/ 11/19
	白井中学校	13:10~13:35	-/ 11/19
木A	白南中学校	13:10~13:50	11/6 11/20
	庄瀬小学校	15:10~15:40	11/6 11/20
月B	小林小学校	児童限定	-/ 11/26
	月湯中学校	13:05~13:45	11/10 -/
火B	白根小学校	10:15~10:40	11/11 11/25
	味方小学校	13:10~13:50	11/11 11/25
木B	白井小学校	10:15~10:40	11/13
	新飯田小学校	12:55~13:35	11/13

『みずものがたり 水をめぐる7の話』 Think the Earth プロジェクト 編著 (一般 517ミ)



人間が誕生するずっと前から地球に存在する水。その量は今も昔もほぼ変わらず13億3000km³だそうです。その中の大半が海水であり、氷河や南極の氷などの人間が直接利用することができない淡水をのぞくと残りは約18km³。約18km³と言われてもピンと来ませんが、この割合を分かりやすく例えて地球上の水の総量が200Lのお風呂の水であるとするならば、生き物が利用できる水はわずか大さじ2杯弱と言えます。

その貴重な水資源を、人間を含めた地球上に生きる動植物で分け合って使っているのです。石油や石炭などの化石燃料とは違い、本来ならば循環させることで永久に利用できた淡水資源ですが、近年の環境汚染や人口増加による水の使用量の増加により、生き物が利用できる淡水の量は不安定になってきています。

この本は私たち人間にとって、なくてはならない水に関する話を7つのテーマに分けて解説しています。写真、絵、文により分かりやすく地球上に豊かに存在する水の神秘、大切さ、不思議さ、そして今深刻なまでに直面する水問題について知ることができます。分かりやすくも普段知ることのない様々な情報が詰まっていますので大人から子どもまで楽しめて、なおかつあまり意識することのなくとも自分たちの周りに多く存在する水について、より深く考えるきっかけを与えてくれると思います。

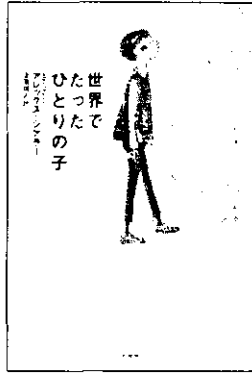
かつて日本では「水と安全はタダ」と言われていた時代があったそうです。この言葉から、また日本には入浴の習慣が根付いていることから世界各国の中でも日本は水の豊かな国であることが分かります。現在でも日本では水道の蛇口をひねれば、制限されることがなく水を使うことが出来ますが、水不足により世界の各地で日本のように水を十分に使うことができない人々がいます。さらにはバーチャルウォーター（輸入した食糧をもし自国で生産した場合に必要な水の量）を考慮すると現在は売り買いするほど地域間で水資源の偏りがある時代と言えます。食料自給率約40%と多くの食料を輸入に頼っている日本は膨大な量の水を各国から集めていることになります。日常の中で当たり前のように行っている生活が実は多くの水を使っていて、私たちの現在の環境を恵まれていると感じることができれば水不足に困っている世界の人々のために、そして地球の未来のために水を大切にするにはどうしたらいいかといったことに思いをめぐらせ、そして行動に移すことができるでしょう。最後に、食材を生産する時点から考えて、牛丼一杯を作るのにどれくらいの水が必要か分かりますか？ 答えは『みずものがたり』の中に！（小林房子）

第96回 読書会

平成20年10月18日（日） 午後2時

世界で たった ひとりの子

アレックス・シアラー 著
竹書房



アンチエイジング技術が現実のものとなり、人々は若さと長寿を享受していた。その一方で、子どもが生まれてこなくなった、そんな時代。希少な子どもを貸し出し、法外な報酬を請求する商売がある。世にも珍しい本当の子どもであるタリンは、ろくでなしのディートに連れまわされ、商品としての子ともを演じる毎日。ディートは安定した生活のため、タリンに永遠に子ども肉体を保つ手術を受けさせようとするが……。

★ ★ 参加者の感想から ★ ★

◆ 少子高齢化や終末医療など、今に通じる問題を描いている。今の私たちの状況からすぐ地続きのような感じがして、とても他人事に思えない感じがした。いつか本当のことになりそう。

◆ 未来の話といっても、すごいテクノロジーとかがでてくるのではなく、現代の話に「長寿が実現した社会」という設定だけを組み込んだらこうなる、という感じになっていて、より真に迫るものがあった。

◆ 「死ねない悲劇」などは昔話にもよく登場するモチーフだが、ファンタジーとかで長寿の種族が例外なくたどる、少子化の先にある種族の衰退はやはり必然なんだなと思った。

◆ 長生きでお金があっても、あんまり幸せそうなのは出てこない。情性で生きているようだ。永遠の若さは人類の悲願だったはずなのに。肉体は若いままでも、心が老いていくことまでは止められないのか。

◆ 誰もが自分の生命に固執してそれを手放さないばかりに、次の世代に命がバトンタッチされない。だから子どもが生まれてこない。命に終わりがあるからこそ、次の命が生まれてくわけて、これを「世界の循環」と表現したのはうまいなと思った。

◆ 自分が100歳を生きるに過ぎて生きながらえることが出来たとして、それが本当に幸福な状態なのかと考えると、疑問が残る。

◆ とはいえ、やっぱり年齢より若く見られたいというのはあるし、死にたくはないし……。そういう気持ちは自分にもあるなと思う。見送られたような気がしてドキッとした。

◆ 一日いくらで擬似家族をレンタルするって、そういえば本当にあった気がする。金持ちの子どもの反応は、本当の家族というものがすでに社会から失われていたからなんだろうと思う。中国の一人っ子政策の弊害を連想させられた。

◆ 外見だけでは人さらいかどうかなどわからない、という描写や、見た目が子どもでも目を見れば本当の子どもかどうか分かる、という描写がある。目に見えているものだけが真実ではないということだろうか。見る力を養うには、やはり自分の内面を磨くしかないだろう。

◆ 延命処置の不自然さを、誰に教えられるでも感じ取り、細く長く生きながらえるよりも、太く短い自然な生き方を選んだ主人公。そこに至るまでの葛藤みたいなものは描かれていないが、生き物としての本質がそうさせたということなのだろうか。

◆ ディートが主人公のもらってきたビスケットを食べてしまう場面がある。金目の物じゃなかったことに悪態をついていたが、想いのこもった食べ物のは、彼の乾いた舌と心にも届いたのだろうか。

◆ 主人公だけ見ればハッピーエンドだが、世界は回一つ変わらないまま、同じことが繰り返していくというエピソードは、そこはかない恐怖を抱かせる。◆ 一日一日を大事にして生きていくことが、やっぱり大切なんだなと思った。

★ ★ ★ ★ ★

『気張る男』 (文芸春秋)

11月30日（日） 午後2時
(会場はルーム2)

さて、今回の読書会は、
城山 三郎 著

本は、図書館カワントーで貸し出ししています。どなたでも気軽に参加できますので、どうぞおいでください。

(清水 隆)